

定義文に用いられる動詞 *involve* について

友 澤 宏 隆

〈Abstract〉

The English transitive verb *involve* can be used to introduce a definition of an action or property, thus serving as a functional equivalent of the linking verb *be*. This usage represents a specialization of the use of the word where the subject-denoted entity includes the object-denoted one as a necessary part or result. There is, however, some indeterminacy between definitory and non-definitory contexts involving the verb *involve*.

1. 序説

英語の他動詞 *involve* は、ある事柄の定義 (definition) に相当すると思われるものを提示するコンテキストで用いられる場合がある⁽¹⁾。(1) はそのような用法の *involve* を含む例である：

- (1) If asked to say what it means 'to lie', most people respond that lying involves saying something that isn't true. It is easy to think of cases where the definition fails. (Taylor 2012: 238)

(1) は *involves* が述語動詞になっている節の内容は「『うそをつくとはどういうことか』と尋ねられれば、たいていの人は『うそをつくとは真実でないことを述べることだ』と答える」ということで、その主語が指す事柄の定義として一般に想定されているものがその目的語になっている。次の各例も同様に考えられる：

- (2) Learning a word involves learning just which uses are in fact sanctioned in the language community. (Taylor 2012: 227)
- (3) The idea that learning a word involves learning its meanings (along with other aspects, such as its pronunciation and its syntactic category) is grossly inadequate. (Taylor 2012: 240)

(2)(3) は *involves* の節の内容はそれぞれ「ある語を習得するとはどの用法が実際

言語共同体で認可されているのかを習得することである」「ある語を習得するとは（その発音やその統語カテゴリーなど他の側面とともに）その（いろいろな）意味を習得することである」ということで、learning a word（ある語を習得すること）という事柄の定義として本質にかなっているとされるものが動詞 *involve* によって導かれている（後者の例に関しては、そのような捉え方が不適切であると著者は主張している）。事柄とその定義に当たるものを結びつけている (1)–(3) のような場合、*involve* は連結動詞 (linking verb) の *be* に相当する働きをしているとも言える。

本稿では、上で示した動詞 *involve* の用法——事柄を定義するコンテキストにおける用法——を適切に記述することをめざす。以下では、まず種々の例とともに動詞 *involve* の基本的な意味・用法を詳細に検討した後、事柄の定義を述べたものとして解釈される *involve* がどのように特徴づけられ、この動詞の意味・用法のネットワークの中にどのように位置づけられるかを明らかにしたいと思う。

2. *involve* の基本的な意味・用法

2.1 *involve* の基本義

involve はラテン語の *involvere* に由来し、“to wrap up, envelop, entangle（包む、包み込む、巻き込む）”が原義であるが、現代語では具体物の間の空間的な関係ではなく具体物・抽象物の間の非空間的な関係を表すのが普通である⁽²⁾。LAAD および LDCE³ はこの動詞の主な意味として次の三つを挙げている：

- (4) a. to include something as a necessary part or result
 (ある事物を必要な [必然的な] 部分 [要素] として含む, ある事物を必然的な結果として含む)
- b. to include or affect someone or something
 (ある人またはある事物を含む, ある人またはある事物に影響を及ぼす)
- c. to ask or allow someone to take part in something
 (ある人にある事柄への参加を要請する, ある人がある事柄に参加することを認める)

これらの意味に関して、能動態では (4a)(4b) は A involves B の形、(4c) は A involves B in C の形で用いられるのが基本である。この形に即して (4a)(4b)(4c) を述べ直すと次のようになる：

- (4) a. (A involves Bにおいて) A が B を必要な [必然的な] 部分 [要素] として / 必然的な結果として含む
 b. (A involves Bにおいて) A が B を含む, A が B に影響を与える
 c. (A involves B in Cにおいて) A が B に C への参加を要請する / B が C に参加することを認める

次にこれらの各々についてその用例を見ていくことにする。下の (5)(6), (7)(8), (9)(10) の各組はそれぞれ (4a)(4b)(4c) の意味の例である:

- (5) Running your own business usually involves working long hours.
 (LAAD)⁽³⁾
- (6) Every day each of us makes decisions that involve taking a chance.
 (LDCE³)
- (7) A study involving long-distance runners is being done at the Medical Center.
 (LAAD)
- (8) an accident involving a coach and two cars (LDCE³)
- (9) The city is making an effort to involve the public in these discussions.
 (LAAD)
- (10) Try to involve as many children as possible in the game (LDCE³)

(5) は「自分で自分の会社 [商店] を経営するのは通常長時間の労働を伴う, 自分で自分の会社 [商店] を経営するのであれば [するためには] 通常は長時間働かなければならない」ということであり, running your own business (自分で自分の会社 [商店] を経営すること) という事柄に通常必ず含まれる [伴う] のが working long hours (長時間働くこと) という事柄 [結果] だということである。(7) は「長距離走者を対象とした研究 [調査] がメディカル・センターで行なわれている」ということで, その study (研究 [調査]) という事柄の中にその対象として long-distance runners (長距離走者) が含まれていることを意味している。(9) は「その市は一般の人々にこれらの論議に参加してもらおうと努めているところである」ということで, the city (市) が the public (一般の人々) に対して these discussions (これらの論議) という事柄に (それを進める主体として) 加わるように働きかけていることを表している。次の (11)–(21) も (4a)(4b)(4c) の用例である ((11)–(14) は (4a), (15)–(18) は (4b), (19)–(21) は (4c) にそれぞれ対応):

- (11) Success always involves effort. (小西 1980: 771)

- (12) Renovating the house involved hiring a contractor. (*MWALED*)
- (13) Getting a degree involves taking the specific classes that a college requires for that degree.
<http://www.wikihow.com/Become-a-Scholar>⁽⁴⁾
- (14) Checking out involves cleaning your apartment and bedroom, and returning your keys to the Student Housing Office.
<http://housing.ucdavis.edu/publications/guides/2014-2015/sha/section01.asp>
- (15) He told us a story involving life on a farm. (*MWALED*)
- (16) a riot involving a hundred inmates (*Collins COBUILD LD*²)
- (17) The most serious injuries involved riders without helmets.
(*Time for Kids*, August 29, 2011)
- (18) Heat is a phenomenon involving whole atoms.
https://prezi.com/6_ds3srcblls/heat-is-a-phenomenon-involving-whole-atoms-in-solid-metals/
- (19) The school tries to involve students in decision-making. (*Chambers SD*)
- (20) We want to involve as many people as possible in the celebrations.
(*OALD*⁸)
- (21) I prefer teaching methods that actively involve students in learning.
(*CALD*³)

これらのうち (4b) に対応する例について見ておくと、(15) は「農場の生活 [農場にいる生き物] を内容の構成要素として含む話、農場の生活 [農場にいる生き物] に関する話」ということである⁽⁵⁾。(16) は「百名の被収容者が参加者として含まれる暴動、百名の被収容者が関与する暴動」ということである。(17) は「最も重大な負傷事故はヘルメットを着用していなかった乗り手が被害者になるものであった、最も重大な負傷事故は乗り手がヘルメットを着用していなかった場合であった」、(18) は「熱は原子全体を対象範囲として含む現象である、熱は原子全体に関わる現象である」ということである。

2.2 involve の基本義の規定と基本義間の関係

上では involve の主な意味として (4a)(4b)(4c) の三つを挙げ、それらの用例について検討したが、次にこれら三つの意味の規定とそれらの間の関係について考察

を進めることにする。

まず (4b) の意味規定を見てみよう。(4b) には「A が B に影響を与える」という記述が含まれているが、これはたとえば (8) や (17) の場合に典型的に当てはまると思われる。すなわちこれらの場合、A はそれぞれ an accident (事故) と The most serious injuries (最も重大な負傷事故) であり、これらは B である a coach and two cars (長距離バス1台と車2台) および riders without helmets (ヘルメットを着用していなかった乗り手) を巻き込んでそれぞれに (重大な) 影響を与えるものである。これらは「A が B を含む」という意味とは直接関係がないように思われるかもしれないが、実際には「A が B に影響を与える」というのは「A が B を A によって影響を被った人または事物として含む」と解することができるため、意味規定にこの記述を別に立てておく必要はないと思われる。よって、ここでは (4b) を次のように修正することを提案する：

(4) b'. (A involves B において) A が B を A の関係者として含む

(4b') は (4b) に対応する他の例 (上の (7)(15)(16)(18) の各例) にも当てはまる。(7) においては B は A の「対象」、(15) では B は A の「(内容の) 構成要素」、(16) では B は A の「参加者」、(18) では B は A の「対象範囲」であり、それぞれ B は A の「関係者」であると見なすことができる。すなわちこれらにおいて、B は A の関係者として A に含まれると言うことができる。

次に (4c) について考えることにする。これは involve が三つの項をとって A involves B in C の形で用いられる場合で、「A が B に C への参加を要請する／B が C に参加することを認める」、すなわち「B が C に参加するという事柄を A が実現させる (ようにする)」ということである。ここで「B が C に参加する」というのは「C が B を C の参加者として含む」、すなわち「C が B を C の関係者として含む」ということであるから、(4c) の規定は次のように言い換えられる：

(4) c'. (A involves B in C において) C が B を C の関係者として含むという事柄を A が実現させる (ようにする)

すぐに気づくように、(4c') の B と C は (4b') の B と A にそれぞれ対応し、両者は表現される意味において関係づけられ、前者は後者の使役形に相当するものと見なすことができる。次の例を見てみよう：

(22) We involved many students in the discussion.

(23) The discussion involved many students.

(22)(23) はそれぞれ (4c')(4b') の例である。(22) の B (=many students) は

(23) の B (= many students), (22) の C (= the discussion) は (23) の A (= the discussion) にそれぞれ対応し、前者は後者を使役化した形であると考えることができる⁽⁶⁾。

このように (4c') と (4b') には意味上の関係を認めることができるが、(4a) はこれらとどのような関係があるであろうか。これについて考えるために、まず 2.1 で挙げた次の例に戻ってみよう：

(7) A study involving long-distance runners is being done at the Medical Center.
(LAAD)

(8) an accident involving a coach and two cars (LDCE³)

これらは (4b) の例として提示されたものであるが、(4b) を修正した (4b') に即して言うと (7) では A (= A study) が B (= long-distance runners) を A の関係者 (ここでは A の「対象」) として含み、(8) では A (= an accident) が B (= a coach and two cars) を A の関係者 (ここでは A に「巻き込まれた者」) として含むことになる。ここで重要なことは、これらにおいて A は概念上単独では存在することができず、A が存在するためには A の「関係者」が必要であるということである。すなわち、(7) であれば A study (研究 [調査]) は必ずある人や事物を対象として行なわれるものであり、そのような対象 (= 研究 [調査] の関係者) なしには成立しない。(8) であれば an accident (事故) は必ず人や物が巻き込まれるものであり、そのような巻き込まれる者 (= 事故の関係者) なしには存在しないものである。そのように考えると、(7) および (8) が表しているのは、各々において A が必要とする関係者に該当するものがこの場合 B であるということだと理解することができる。すなわち、(7)(8) に例示される (4b') は、A がある関係者を A が成立するために必要な要素として含むということを前提としたものであり、それゆえ (4b') は (4a) の意味 (= (A involves B において) A が B を必要な [必然的な] 部分 [要素] として / 必然的な結果として含む) を背景としていることができる。これは、(4a) における B に該当する具体的な人や事物が (4b') における B であるということである。

以上の考察から、involve の三つの意味 (4a)(4b')(4c') の間のつながりとして次の関係を提案する：

(24) (4a) — (4b') — (4c')

(24) は、(4a) と (4b'), および (4b') と (4c') が直接のつながりを持っており、(4a) と (4c') は (4b') を介した間接的なつながりであることを示すものである⁽⁷⁾。

これは (4a) が中心義だとすると (4b')(4c') は周辺義であり, そのうち (4c') のほうがより周辺のだということである。

3. 定義文における involve の用法

2. では動詞 involve の三つの基本的な意味をその用例とともに取り上げ, それらの規定のあり方およびそれらの間の関係について考察したが, 以下では最初に示したある事柄の定義に相当するものを述べたものとして解釈される involve がどのような特徴を持ち, 上で見てきたこの動詞の他の用法とどのような関係にあるのかを明らかにすることを試みる。

3.1 involve の〈定義文読み〉

まず初めに, 冒頭に挙げた次の例を見てみよう:

- (1) If asked to say what it means 'to lie', most people respond that lying involves saying something that isn't true. It is easy to think of cases where the definition fails. (Taylor 2012: 238)

(1) は A involves B の A (=lying) の定義に相当するものが B (=saying something that isn't true) であるという関係を表すものであるが, これは A (=うそをつくこと) という事象が生じるためには B (=真実でないことを述べること) という事象が生じる必要があることを意味する。これはすなわち, A はその事象概念の成立のための必須の要素として B を含むということである。このことは, (1) のような involve の用法は 2. で見た (4a) の場合に含めることができることを意味するが, この場合重要なことは, (1) の A involves B が A を定義づける, すなわち A の本質的な概念内容を過不足なく述べることに関わるものであるとすれば, B は A の必須要素であるが B 以外のものは A の必須要素としては想定されていないという点である。これは換言すれば, B は A の概念の成立のための必要かつ十分な条件として提示されているということである。すなわち (1) において, 「うそをつくこと」は「真実でないことを述べること」であり, 逆に「真実でないことを述べた」としたら「うそをついた」ことになるということである⁽⁸⁾。以上から, A involves B が A の定義を述べたものとして解釈される場合, その意味は次のようにまとめられる:

- (4) d. (A involves B において) A がその概念の成立のための必須要素として

Bを含むが、B以外のものはその必須要素としては含まない（BはAの概念を規定するための必要十分な条件である）

(4d) は (4a) を保持しながら、それに加えてBに条件の十分性の読み込みを行なったものである。これは (4a) に意味要素を付加することによって意味の特殊化 (specialization) をはかったものであると考えることができる⁽⁹⁾。これを (24) に示した関係と結びつけると、involveの意味のネットワークを次のように表すことができる：

(25) (4d) — (4a) — (4b') — (4c')

(25) は、(4d) は (4a) とは近い関係にあるが、(4b') や (4c') とは遠い関係にあることを示している。

上では A involves B が A の定義を述べたものとして解釈される場合、その意味は (4d) のように特徴づけられることを見たが、逆に A involves B が (4d) を満たす場合、それは A の定義を述べたものとして解釈することができる。次の各例を見てみよう：

(26) In general, solar power generation involves the conversion of solar energy to electrical energy.

<http://www.google.com/patents/US20090260619>

(27) As an alternative to using a single-occupancy vehicle, carpooling involves two to five commuters sharing an employee-owned vehicle.

<https://www.cabq.gov/transit/modes-of-transportation/carpooling>

(28) Definite integration involves finding the area under a curve where the integration has limits.

<https://www.qub.ac.uk/directorates/media/Media,531086,en.pdf>

(29) What is Neutering?

- Neutering is known as CASTRATION in male animals and SPAYING in female animals.

- In the male castration involves removing the testicles.

- In the female spaying involves removing the ovaries.

<http://www.brookfieldvets.co.uk/Neutering1534.html>

(30) What is home education?

Home education involves teaching your children at home instead of in a traditional school environment. Parents have practiced home education

since the beginning of public and private schooling.

<http://www.futureschool.com/home-education/>

(26)–(30) において、A involves B の A はそれぞれ solar power generation (太陽光発電), carpooling (通勤の自動車の相乗り), definite integration (定積分), castration/spaying ((雄の) 去勢 / (雌の) 避妊), home education (自宅教育) であり、また B はそれぞれ「太陽エネルギーを電気エネルギーに転換すること」「ある従業員が所有する自動車に2~5人の通勤者が相乗りすること」「積分区間の両端が定まっている場合に曲線図形の下の部分 [曲線図形と x 軸に挟まれた部分] の面積を求めること」「睾丸/卵巣を除去すること」「伝統的な学校の教室ではなく自宅で子どもを教えること」である。これらの場合、それぞれ B は A の概念を規定するための必要かつ十分な条件であると一般に了解され、B は A の事象概念の定義に相当するものを表していると解釈することができる⁽¹⁰⁾。次の (31)–(39) も同様で、B は A (=deforestation (森林伐採 (による森林破壊)) ((31) の場合), phonics (フォニックス) ((32) の場合), fostering (里親になること) ((33) の場合), retailing (小売り) ((34) の場合), insomnia (不眠症) ((35) の場合), sustainable development (持続可能な開発) ((36) の場合), sustainable living (持続可能な生活) ((37) の場合), dissociative amnesia (解離性健忘) ((38) の場合), surface acting (表層演技) / deep acting (深層演技) ((39) の場合) の概念規定のための必要十分な条件であると理解され、そのようなものとして A が定義づけられていると解することができる：

(31) What is deforestation?

Deforestation involves the cutting down, burning, and damaging of forests.

<http://geoalliance.asu.edu/sites/default/files/LessonFiles/Stelten/SteltenForestS1.pdf>

(32) What is phonics?

Phonics involves the relationship between sounds and their spellings.

<http://langleymillinfantschool.co.uk/parents/phonics/>

(33) What is fostering?

Fostering involves looking after children and young people in your home and providing an experience of family life.

<https://www.salford.gov.uk/fosterfaq.htm>

(34) What is Retailing?

Retailing involves selling products and services to consumers for their personal or family use.

<http://www2.fiu.edu/~retail/whatis.html>

(35) What is Insomnia?

The Definition of Insomnia: Insomnia involves difficulty falling asleep and / or staying asleep.

<http://www.easynight.org/sleeping-trouble/insomnia.htm>

(36) Sustainable development involves devising a social and economic system, which ensures that these goals are sustained, i.e. that real incomes rise, that educational standards increase, that the health of the nation improves, that the general quality of life is advanced.

<http://www.ecifm.rdg.ac.uk/definitions.htm>⁽¹¹⁾

(37) Sustainable living involves creating and maintaining conditions under which humans and nature can exist in productive harmony, fulfilling environmental, social, economic and other requirements of present and future generations.

<http://mxcc.edu/catalog/course-descriptions/philosophy-phl>

(38) Dissociative amnesia involves the sudden partial or total loss of important personal information or memory of a specific event following a traumatic event or stressful circumstances ... (Sue et al. 2014: 160)

(39) Surface acting involves simulating emotions that are not actually felt, typically through a combination of verbal and non-verbal cues (such as facial expression, posture, gestures, voice tone). Deep acting involves actively inducing, suppressing or shaping one's actual emotions so that one's expression of emotions is consistent with one's experience of emotions. Thus, surface acting focuses on outward behaviour, whereas deep acting focuses on inner feelings. (Fineman (ed.) 2000: 195)

上の (30)–(39) において, (30)–(35) は, それぞれ A involves B に先行して What is A? という問いがあり, それに答える形になっている ((35) の場合は, その問いの直後に The Definition of A という部分が挿入されている)。(36)–(39) は, それぞれ B の部分が長く詳細に展開されている。これらのコンテクスト的条

件は、B が充分性を付与され A involves B が定義文として解釈されることを促すことに関わっていると考えられる⁽¹²⁾。

3.2 involve の〈定義文読み〉と〈非定義文読み〉の間

3.1 では動詞 involve が事柄の定義を述べたものとして解釈される場合の意味的特徴について考察したが、A involves B の例の中にはそれが定義文として解釈されるかどうか（すなわち、B が A の概念を規定するための必要かつ十分な条件と言えるかどうか）に関して不確定性が見られるものもある。次の各例を参照：

(40) Getting married involves promising to live with someone for the rest of your life. (Walton 1996: 56)

(41) For another student, being human involves striving to cope with the death of loved ones ... For one, being human involves taking responsibility for the earth's fragile ecosystem.

(Kritt and Winegar (eds.) 2007: 227)

(40)(41) の場合、定義文として解釈することは可能であるが、これらが単独でそのように解釈されることがつねに可能かどうか（すなわち、A involves B の B に充分性がつねに読み込まれるか）は定かではない。たとえば (40) の場合、A (= getting married (結婚すること)) が成立するための必要かつ十分な条件として B (= promising to live with someone for the rest of your life (以後の自分の人生をその人とともにすることを約束すること)) が提示されていると考えてよいかどうか断定しがたい面もある。(41) も同様に、A (= being human (人間であること)) が成り立つための必要十分な条件として B の内容が提示されているとしてよいかどうか明らかとは言えないかもしれない。これらの場合、もし B に充分性が付与されず、B が十分条件ではないものとして提示されているとすれば、(4a) の場合と同様に、B は A が成立するための単なる必要条件であることになり、これらは定義文としての機能を持つとは言えないことになる。その実際の解釈には前後のコンテキストや話者の主観的な判断などの語用論的な要素が関わってくると考えられる。このようなことから、A involves B の定義文としての解釈と非定義文としての解釈の境界は必ずしも明確ではなく、両者の間には連続性があると考えられる。

4. 結語

本稿では、英語の語彙研究の一環として、ある事柄の定義に相当するものを提示するコンテキストで用いられる他動詞 *involve* の用法を取り上げ、それをこの動詞の用法全体の中に適切に位置づけることを試みた。2. ではまず動詞 *involve* の基本的な意味・用法を検討・整理し、その各意味・用法のつながりを追究しようと努めた。3. では事柄の定義を述べたものとして解釈される *involve* の用例がどのような意味的特徴を持ち、2. で見た *involve* の意味・用法とどのように関係づけられるかを考察した。定義文としての解釈が可能である場合、*involve* の基本義の一つに新たな意味要素が付加されて、意味の特殊化が生じることを論じた。さらに、*involve* を用いた例が定義文として解釈されるかどうかに関しては不確定な面があり、定義文・非定義文の解釈の連続性の可能性にも言及した⁽¹³⁾。

注

1. ここでいう「定義」とは、意味的な概念として「当該の事柄の本質的な概念内容を過不足なく述べたもの」を指すものとする。
2. Burchfield (1996: 412) および小西 (1980: 770) を参照。
3. (4a) の意味の場合、*involve* の主語および目的語の指示対象はともに通常何らかの「事柄 (典型的には人の行為)」であり、それらはこの (5) のように動詞の非定形を用いて表されることが少なくない。その場合、主語は Ving (動名詞) のほか to+V (to 不定詞) も用いられることがあるが、目的語は Ving の形しか用いられない。小西 (1980: 771) および Huddleston and Pullum (2002: 1232, 1233) を参照。*involve* の主語に to 不定詞が可能であるのは、(4a) の意味の場合、主語が指す事柄が目的語が指す事柄よりも時間的に後であることがあり、それが to 不定詞に内在する未来志向性と合致して to 不定詞が用いられるのではないかと考えられる。
4. 本稿で用いたウェブサイトからの例の閲覧日はすべて 2016 年 2 月 7 日である。
5. インフォーマントの Amy Baker 氏によると、次の三つの文はほとんど同義 (practically synonymous) で、相互に交換して用いることができるとのことである：

She told us a story involving life on a farm.
 She told us a story concerning life on a farm.
 She told us a story about life on a farm.

 この場合現在分詞 *involving* は文法化して、「(話の内容の構成要素の一つである) 話の主題」を表す前置詞のような働きをしているように見えるが、これは動詞 *involve* の用法の拡がりの一部がそのような機能上の重なりを示しているものである。
6. (22) などに例示される (4c') は *walk* などの非能格動詞を他動詞にして使役的な意味

で用いる場合を想起させるが、非能格の自動詞を他動詞に転換した場合、自動詞の主語が他動詞の目的語になるのに対して (*The dog walked*→*I walked the dog*), involve の場合は使役用法における動詞の目的語が元の用法における動詞の (主語ではなく) 目的語であるため、非能格動詞の自他交替の場合とは項の文法関係の対応関係が異なっている。非能格動詞については影山 (編) (2001) および斎藤ほか (編) (2015) を参照。

7. これら三つの意味はつながりを持ち、involve は種々の意味での包含の関係を表すことに関わっていると言えるが、2.1 の冒頭でも述べたように、involve が表す包含関係は具体的にイメージされる空間的な包含関係とは異なるものである。これに対して include にはそのような制約がなく、それが表す包含関係の具体性は問題ではない。
8. 実際には、これが「うそをつくこと」の定義として適切ではないことは Taylor (2012: 238) が指摘する通りである。
9. 意味の特殊化については, Dirven and Verspoor (2004: 34, 35) および Geeraerts (2010: 26, 27) を参照。
10. (29) に関して, spaying (避妊) は米国では ovaries (卵巣) と uterus (子宮) を除去することを指すが, 欧州では ovaries だけを除去するのが一般的であるとのことである。そうすると (29) の例は, 欧州での spaying の方法を述べているものと理解することができる。cf. <http://thebark.com/content/spaying-alternatives>
11. この例は “Definitions of sustainability (持続可能性の定義)” の一つとして挙げられているものである。
12. (1)–(3) や (26)–(39) の場合は A involves B において B に十分性の読み込みが行なわれていると考えられるが, 次の例はそれが B の中に含まれている形容詞 simple によって示されているものである:

Sneaking out of North Korea involves the *simple* act of fording a narrow river into China. (中村 2002: 385)

(北朝鮮からひそかに脱け出すには狭い川を徒歩で渡って中国に入ればよい)

この場合は対応する副詞の simply を用いて次のように言い換えることができ、B が A が成立するための必要かつ十分な条件であることを明示することができる:

Sneaking out of North Korea *simply* involves/involves *simply* (the act of) fording a narrow river into China.

中村 (2002: 385) は上の simple を「簡単な」の意味に解し、これを品詞転換すると only になると述べているが、これは正確ではない。involve the simple act of ... や The simple act of ... is enough/sufficient などのコンテキストにおいて、the simple act of ... は「単に……するだけの行為」の意味であり、またこの simple に形式上対応するのは only ではなく simply である。中村 (2002: 385) の記述は英語理解の粗雑さを露呈したものであると言えよう。

13. 事柄の定義に相当するものを提示するのに用いられる表現として、他に前置詞 about を用いた A is (all) about B の形がある:

This is what life is all about. (人生とはこういうものだ/こんなものだ)

Globalization is about making national borders less important for those who want to buy or sell things around the world.

<https://simple.wikipedia.org/wiki/Globalization>

(グローバル化とは世界各地で物を売り買いしたい人たちにとって国境が持つ意味を

(今までより) 小さくするということである)
この形と本稿で扱った A involves B の用法の対応関係については今後の課題としたいと思う。

例文出典

- Fineman, Stephen (ed.) (2000) *Emotion in Organizations*, 2nd edition. London: SAGE Publications Ltd.
- Kritt, David W. and Lucien T. Winegar (eds.) (2007) *Education and Technology: Critical Perspectives, Possible Futures*. Lanham, MD: Lexington Books.
- Sue, David, Derald Wing Sue, Diane Sue and Stanley Sue (2014) *Essentials of Understanding Abnormal Behavior*, 2nd edition. Belmont, California: Wadsworth.
- Walton, Douglas (1996) *Fallacies Arising from Ambiguity*. New York: Springer Science + Business Media, LLC.
- Chambers SD = Chambers Student Learner's Dictionary.
- CALD³ = Cambridge Advanced Learner's Dictionary, 3rd edition.
- Chambers SD = Chambers Student Learner's Dictionary.
- Collins COBUILD LD² = Collins COBUILD Learner's Dictionary, 2nd edition.
- LAAD = Longman Advanced American Dictionary.
- LDCE³ = Longman Dictionary of Contemporary English, 3rd edition.
- MWALED = Merriam-Webster's Advanced Learner's English Dictionary.
- OALD⁸ = Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English, 8th edition.

参考文献

- 影山太郎 (編) (2001) 『日英対照 動詞の意味と構文』 東京: 大修館書店。
- 小西友七 (編) (1980) 『英語基本動詞辞典』 東京: 研究社出版。
- 斎藤純男・田口善久・西村義樹 (編) (2015) 『明解言語学辞典』 東京: 三省堂。
- 中村保男 (2002) 『新編 英和翻訳表現辞典』 東京: 研究社。
- Burchfield, Robert William (ed.) (1996) *The New Fowler's Modern English Usage*, Third Edition. Oxford: Oxford University Press.
- Dirven, René and Marjolijn Verspoor (2004) *Cognitive Explorations of Language and Linguistics*, Second Revised Edition. Amsterdam: John Benjamins.
- Geeraerts, Dirk (2010) *Theories of Lexical Semantics*. New York: Oxford University Press.
- Huddleston, Rodney and Geoffrey K. Pullum (2002) *The Cambridge Grammar of the English Language*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Taylor, John R. (2012) *The Mental Corpus: How Language is Represented in the Mind*. New York: Oxford University Press.